

ニッペ

エコフラット[®] 60

塗料中に揮発性有機化合物(VOC)をほとんど含まない、JIS K 5663 2種合格の環境配慮形合成樹脂エマルションペイントです。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド放散等級	F ★★★★☆
--------------	---------

本製品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と店頭にて調色していただくためのJIS非表示品があります。JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

■特長

※オプションで防藻・防かび機能を付与できます。

①超低 VOC

塗装後のVOC放出量がほとんどありません。

②超低臭気

臭気成分もゼロに近づけたため、非常に低臭です。

③高作業性

仕上り性、かぶり(隠ぺい性)、タッチアップ性(補修性)がすぐれています。

④下地適応性

当社製品の「ニッペ水性カチオンシーラー」「ニッペ水性シミ止めシーラーII」との組み合わせで下地適応が広がります。

■用途

マンション・教育施設・商業施設などVOC・臭気対策が求められる建物内部壁面に最適

■適用下地

コンクリート・モルタル・プラスターボード

■標準塗装仕様

●新設

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー 透明 ホワイト	1	0.10～0.16 ^(注)	4時間以上	無希釈 水道水	— 0～10	はけ、ウールローラー
上塗り	エコフラット60	2	0.12～0.14 ^(注) 0.13～0.15 ^(注)	2時間以上	水道水	5～10 5～15	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※下塗りには、水性透明シーラー、水性ホワイトシーラーも使用できます。

●塗り替え(旧塗膜・塩化ビニールクロス面)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	旧塗膜・塩ビクロスなどのめくれ、浮き、はがれなどは十分に補修し、汚れ、ゴミなどの付着阻害物は、中性洗剤やペーパーなどで除去し、水拭き後乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性シミ止めシーラーII 透明 ホワイト	1	0.11～0.13 ^(注)	4時間以上	水道水	0～5	はけ、ウールローラー
上塗り	エコフラット60	2	0.12～0.14 ^(注) 0.13～0.15 ^(注)	2時間以上	水道水	5～10 5～15	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※下塗りには、水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)も使用できます。(下地が旧塗膜の場合)

注)

■「ニッペ水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)」の塗り付け量は0.09kg/m²/回です。 ■「エコフラット60」の塗り付け量は0.10kg/m²/回です。 ■「ニッペ水性シミ止めシーラーII」の塗り付け量は0.09kg/m²/回です。 ■使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ■塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量 ■風化面、吸込み面の著しい下地では、ニッペ漫透性シーラー(新)、ニッペー液漫透シーラー、ニッペファイン漫透シーラーをご使用ください。 ■カタログに記載されている内容は、一般的な環境下での施工を想定して記載しております。特別な環境が想定される施工現場、部位に塗装される場合は事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

ニッペ エコフラット 60

塗り重ね乾燥時間

	5 ~ 10°C	23°C	30°C
塗り重ね乾燥	5 時間以上	2 時間以上	1 時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

容量・荷姿

塗料名	エコフラット 60
系 統	室内環境配慮型水性つや消し塗料
容 量	20kg
色 相	各色
つ や	つや消し

塗膜性能

試験項目	規格	JIS K 5663 2種
容器の中での状態	かき混ぜた時、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があつてはならない。	合格
低温安定性(-5°C)	変質してはならない。	合格
乾燥時間(h)	標準状態: 2以下 / 5°C: 4以下	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
隠ぺい率%(白及び淡彩)	95以上	98
耐アルカリ性	18時間浸したとき異常がないものとする。	合格
耐洗浄性	100回の洗浄に耐えるものとする。	合格
TVOC	標準圧力で、沸点または開始点が、250°C以下の化学物質質量が、1%以下であること。(日本塗料工業会の室内用建築用塗料の目標基準)	合格
臭気	従来品と比べ、極めて少ないこと。(社内規格)	合格

施工上の要点と注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けください。苦しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。苦しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、影れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除いてください。
- 色相によっては降雨、雪などの雨露では影れになります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレー方式による場合は、底面に粘着することがあります。時々こぼれ落ちる原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 動物のはけはけが固まつたりダメになりやすいので、できるだけナイロンのはけをご使用ください。
- 漆彩色を塗装する際には、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認の上、ご使用ください。
- 塗装に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上の塗装は避けください。
- 本品は必ず回塗りをしてください。1回塗りと2回塗りでは仕上がりが異なることがあります。
- 2つやり仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
- 織維壁、耐火被覆用パネルシーム用ロックワールなどの塗り替えには使用できません。
- 吸盤板塗り替り用顔料分塗材(パールマット等)の塗り替えには使用できません。
- 5cm下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5cm以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻・カビが、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着削除をおこすおそれがあります。
- 外部の風化面・吸込みの苦しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペアイン浸透シーラーをご使用ください。
- やわらかく付着している場合は、ウエスなどでやに水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少しとし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23°C、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性能が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。
- 下地にタバコやに汚れが苦しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。
- 塗装ヒニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくることがありますので、クロスの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度はpH11以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製 CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製 H1500シリーズ: コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 内壁の新設工場の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 外部では素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
24. 塗装場所の気温がちじめ未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
25. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅りますので、換気を十分に行ってください。
26. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
27. 飛散防止のため必ず生を行ってください。
28. 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、影れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
29. 薄すぎや隠ぺい力不足、仕上がり不良などが発生する場合規定範囲を超えて希釈しないでください。
30. 上塗りに汚れたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に汚れた色相では、共色を下塗しても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板などで確認ください。
31. 調色に必ず専社専用の原色をお使いください。
32. 濃色彩や沿えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解やにじみが発生する場合には、スプレー塗装を行ってください。
33. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
34. はけ塗り上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がありますので、はけ塗りの部分は希釈を少しくして塗装してください。
35. ローラーと塗りの場合は同一方向に塗るよう仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが感が異なつて見えることがあります。
36. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り餌まで入れてください。
37. 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
38. 塗り口クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をかけると著しくはくじくクロス)には塗装できません。塗り口クロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。
39. ローラー、はけなどは、ほかの溶剂での塗装に使用すると、はじみなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するが専用でご使用ください。
40. 可塑剤が多く含まれる塗装用鋼板、塗装ビニル鋼板、塗装ビニルネット、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塗装クロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
41. 塗料は内容物が均一になるようかくはんしてください。特にや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
42. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
43. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
44. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

エコフラット60白

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。 2. 使用前に取扱説明書を入手してください。 3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 4. 取扱い後は、手洗いやおしゃがいを十分に行ってください。 5. 保護手袋／保護衣服／保護眼鏡／保護面を着用してください 6. 口をすすぐでください。 7. 窓からこぼれた時には、砂などを散らした後処理してください。 8. 吸入した場合：空気の清新な場所に移し、呼吸しやすい姿势で休息させてください。 10. 瞳に入った場合：水で数分間注意深く洗してください。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を継続してください。 11. ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けてください。 12. 他の刺激がある場合は、医師に連絡してください。 13. 施設にて保管してください。	14. 直射日光や水濡れは禁制品です。 15. 塗料等の桶の積み重ねは3段までとしてください。 16. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50°C以上（スプレー缶の場合は40°C以上）の温度にばく露しないでください。 17. 容器はつぶ上げないでください。やむを得ずすり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。（偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。） 18. 内容物・容器を国・地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 19. 容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。 ■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。	

危 険



臓器の障害のおそれ（単回ばく露）／長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ／強い眼刺激／発がんのおそれ

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
東北支店 ☎ 022-232-6712 中國支店 ☎ 082-281-2180
関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
中部支店 ☎ 052-461-1960

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-W127
UD190208T
2019年2月現在